

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます

さて、私こと、小田和浩は、昨年10月1日付で代表取締役社長に就任し、約2か月が経ちましたが、これまでの経験を活かし、全力で社業の発展に努めてまいる所存でございます。何卒、前任者同様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年は、国内外で多くの重要な出来事がありました。国内では、1月に石川県能登地方で震度7の地震が発生し、津波被害も含め多くの方々が被災されましたが、3月に北陸新幹線が延伸開業し東京と福井が直通となったことは、被災地復興の足がかりになると期待されます。また、7月には旧優生保護法を巡る最高裁判決が下され、国の賠償責任が認められました。夏季オリンピックパリ大会では、海外五輪過去最多メダル獲得と明るい話題の一方8月には岸田首相が退陣を表明し、国内政治に生じた混乱は未だ尾を引いております。国際的には、ウクライナ情勢の長期化や中東の不安定化が続き、世界経済またグローバルな供給網に多大な影響を及ぼしました。イランの軍事組織「革命防衛隊」がイスラエルに向けてドローンとミサイルを発射した声明を出したことは、イランによるイスラエルへの初の直接攻撃として世界に衝撃を与えました。米国第2次トランプ政権の政策も、中東、世界経済の動向に大きな影響を与えることが予測されます。

眼鏡業界では、環境負荷を低減したリサイクル素材を用いたフレームが市場の注目を集め一方、スマートグラスなどの次世代技術が加速度的に進展する年でもありました。

2025年は、デジタル化とAI技術の進化が眼鏡業界にも大きな影響を与えることが予想されます。オンライン試着の精度向上や、AIを活用した視覚データ解析技術の進展など、これまでにない革新が市場に波及するでしょう。当社もこうした変化に柔軟に対応し、皆様のお役に立てるよう一層の努力をもってご厚情にお答えしてまいります。

本年も変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴社の益々のご繁栄と、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

どうぞ本年もよろしくお願ひいたします。

2025年1月吉日

株式会社ティーエスエル
代表取締役社長
小田和浩